

地域とともに作る植物標本集 －ハーバリウム・霧多布－

特定非営利活動法人 霧多布湿原ナショナルトラスト

1. ハーバリウム・霧多布とは？

- ・「herbarium ハーバリウム」とは、本来「植物標本庫」を意味する。
- ・標本は実物をともなった確実な証拠なので、調査研究、環境教育の基礎資料として、将来に渡って利用できる。
- ・当団体では2011年より、釧路市立博物館や地域のボランティアとともに、浜中町に生育する全植物の押し葉標本を作る活動「ハーバリウム・霧多布」を実施中。



2. これまでの成果

文献上、町内では844種類が報告

1) 標本にした植物

- ・本活動で2019年までに収集できた植物は447種類、1,703点。

2) 標本収集以外にも、活動の成果を利用して展示会や観察会を実施

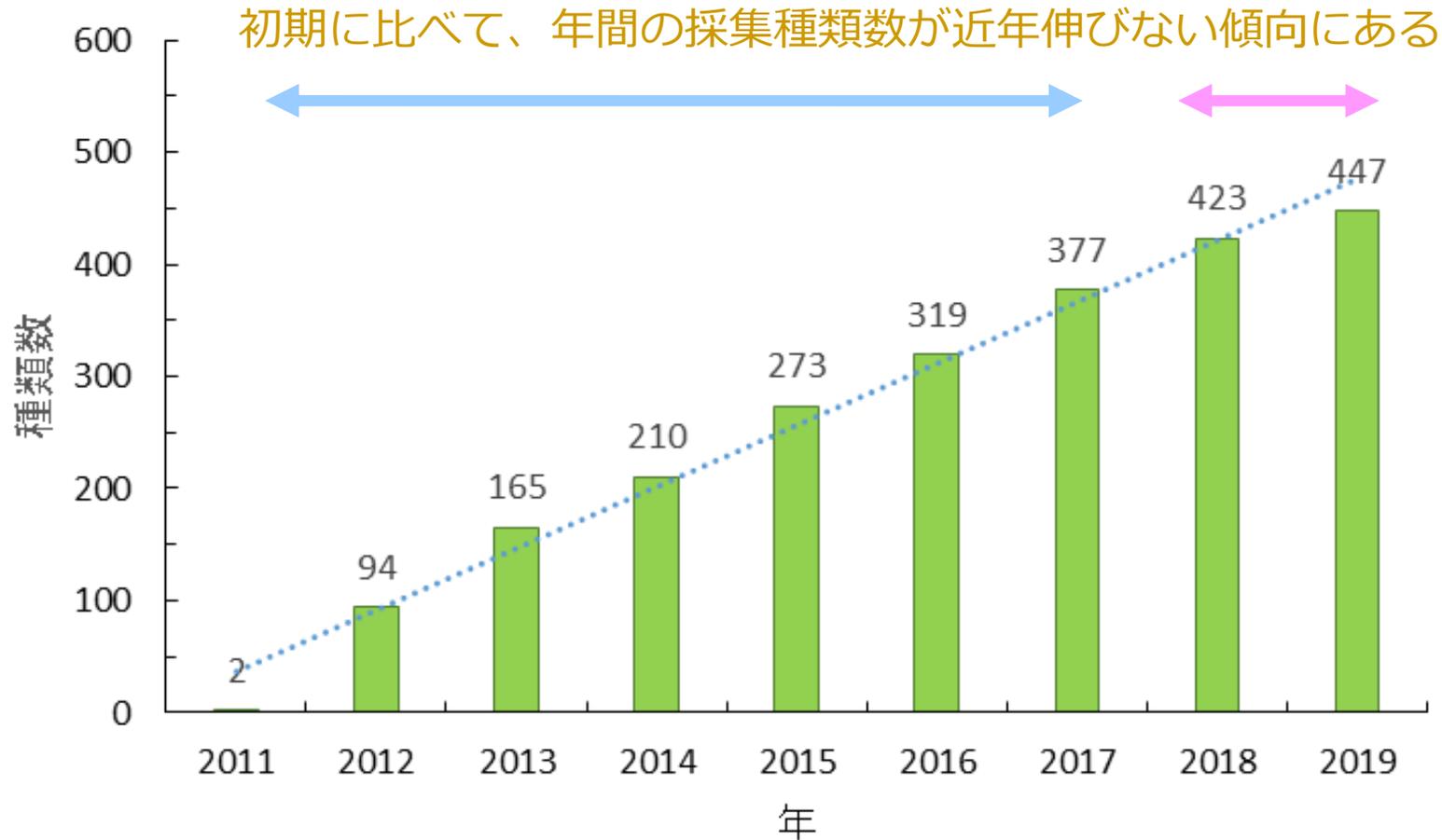
- ・2015年度 企画展「未来へ残す私たちの記録ーハーバリウム・霧多布ー」
- ・2016年度 植物観察会「きりたっぷフラワーツアー」
- ・2017年度 企画展「あなたの知らないスゲの世界ー振り返れば奴(スゲ)がいるー」
- ・2018年度 企画展「あなたの知らないスゲの世界ー振り返れば奴(スゲ)がいるリターンズー」
- ・2019年度 企画展「あなたの知らない外来種の世界ーはるばる来たぜ、浜中へー」

3) 見えてきたゴール

- ・集めた標本を利用して、浜中町の植物図鑑を製作する。



3. 課題



代表的な植物は採集できても、専門家ではないと採集・同定が困難な植物が採集できていない傾向 ⇒外部講師の必要性！

4. 今年度の事業予定

以下をテーマにして、標本を集めていく予定。

6月 湿原の植物（低～高層湿原）

7月 水草

8月 イネ科植物



外部講師の協力を依頼

10-11月 標本の台紙貼り・整理

※新型コロナウイルス感染症拡大を防止するため、当初の予定よりも募集人数を少なくし、リスク軽減に努めながら、できる限り進めていく。